

株式会社 森組 CSR統括部
〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17
TEL:06-6222-5094 FAX:06-7732-4996
URL:https://www.morigumi.co.jp



CSR REPORT 2025



CARBON EMISSION
484.5 ▶ 432.3 kg CO₂
この印刷物は、Scope1,2のCO₂排出
量が実質ゼロで稼働するカーボンゼロ
プリント工場で印刷しています。
CZP-000278629 (1,300copies)



CONTENTS

03 トップメッセージ

05 健全な経営

経営理念／コーポレートスローガン／経営方針／
行動規範／コーポレート・ガバナンス／コンプライアンス／
リスクマネジメント／BCP「事業継続計画」の策定

11 多彩な事業

建築事業／土木事業／リニューアル事業／砕石事業／
魅力あるまちづくり

15 高い品質

ISO 9001の取得／品質目標の取組状況／
優良工事の表彰／新工法の紹介

17 確かな安全

安全衛生方針／
労働安全衛生マネジメントシステム(ISO45001)／
安全衛生活動の取り組み／
協力会社との連携(MOST会)／MOST会各部会の活動／
経営層パトロール／けんせつ小町パトロール

21 守りたい環境

環境方針／ISO 14001の取得／環境目標の取組状況／
電子マニフェスト普及率98.4%達成

23 望まれる社会貢献

災害復旧への貢献／緊急資材の配備／
食品ロスの削減に向けての取り組み／
現場見学会・地域社会への貢献／SDGsに対する取り組み

27 責任ある社員育成

森組の人財育成に関する取り組み／
森組の採用に関する取り組み／
森組の働きがいに関する取り組み

31 MORIGUMI CORPORATE DATA

会社概要／組織図／主な取引先／IR情報／沿革／
事業所一覧

CSR REPORT 2025



私たちの仕事はその思想もカタチも、次代へと繋がり残るものだから
企業はもちろん全社員が、常に大きな社会的責任を担っています。

創業以来126年、激動の時代を生き抜き

着実に成長を遂げてきた背景には

社会的責任とともに、すべてのステークホルダーの皆さまに信頼され、
満足を感じ喜んでいただけることを

何よりの喜びと考える企業姿勢が存在しています。

森組は、社会や環境と共生しつつ、皆さまの喜びを喜べる企業として

堅実にかつ進取的に歩み続けます。



01

健全な経営

02

多彩な事業

03

高い品質

04

確かな安全

05

守りたい環境

06

望まれる社会貢献

07

責任ある社員育成

編集にあたって…

森組のCSRへの考え方や活動について、
できる限り簡潔に表現し、わかりやすい誌
面づくりに努めました。このレポートが、ス
テークホルダーの皆さまと森組とのコミュ
ニケーションを図るツールとなれば幸いです。
皆さまが「森組について知りたいこと」、
森組が「皆さまへ伝えたいこと」を、このレ
ポートにてお届けしたいと考えています。

対象期間

2024年4月1日～2025年3月31日
(一部対象期間以前、もしくは以後直近の活動内
容も含まれています)

更 新

2025年7月1日

株式会社 森組 CSR統括部

〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17
TEL:06-6222-5094 FAX:06-7732-4996
URL: <https://www.morigumi.co.jp>



※SDGsとは

2015年に国連で採択された2030年までの人類と地球の繁栄のため
の行動計画で、17のゴールと169のターゲットから構成されています。
本冊子では、当社の取組でSDGs達成に寄与している主なゴールをア
クション毎に明示しています。



将来にわたって 安定した事業活動ができる 企業体質を構築し、 森組の「特長(Strong Point)」を 顕在化させ、魅力ある企業へ。

代表取締役社長
吉田 裕司



CSRレポート2025の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。日本経済とりわけ建設業界においては、一時の著しい資材費の高騰が収まり一服感はあるものの、トランプ大統領就任以来の政策動向の影響により、日本経済の不透明感が一層加速した状態が続き、景気の先行きが予測し難い情勢となってきました。従前からのコストプッシュ型インフレが未だ収まらず、本来の良いインフレと言われるデマンドプル型には変容していないのが実状ではないでしょうか。とはいうもののそのような状況下、公共事業は底堅く推移し、民間住宅投資のうち、分譲マンションや賃貸マンションは建設コストの上昇の不透明感などが懸念される中、前年度と同水準を維持しました。企業の設備投資意欲は引き続き堅調で、事務所、店舗、工場などの設備投資額は増加しました。これからも足元をしっかりと固め、社業に専念したいと存じます。

当社の生業である土木、建築事業の使命は、皆さまの暮らしを守る、そして社会資本の礎を築くことでもあります。当社の事業が、ステークホルダーの将来への設備投資であり、公共事業で

は長期にわたる社会基盤整備であることを誇りに思い、経営理念の下、コーポレート・スローガンを胸に刻み、揺るぎない気持ちで本業に邁進してまいります。

さて、私たち森組は1899年の創業以来、昨年2024年6月には創業125周年の節目を迎えました。厳しい事業環境に何度も直面しましたが、その度に数多くの方々の支えがあって現在に至っております。これからも、当社ならびに関係会社の役職員の皆さまの健康と安全を図りながら、協力会社さまとの協働体制等の深化を糧に、建設業本来の“モノづくり”に拘り続け、お客さまをはじめとしたすべてのステークホルダーの皆さまの負託に応えてまいります。

今後とも、当社は持続的な成長と中長期的な企業価値向上のために経営の効率化を図り、公正性、透明性を確保して最適なコーポレート・ガバナンスの構築に努めてまいります。

皆さまの更なるご指導・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

当社を取り巻く事業環境

冒頭に申しあげましたように、不透明感が残るものの、建設投資全体としては堅調であり、前年度比で同水準もしくは微増と予測されますが、いずれにいたしましても十分に留意する必要があります。しかしながら、建設市場は受注競争が熾烈を極めていき、厳しい市場環境になることは今までと変わらず明白です。寡占状態がすでに垣間見えます。

当社において民間需要の中心となる建築工事では、継続顧客との信頼関係が醸成されてきておりますので、しっかりとこれらの絆を今まで以上に大切にまいります。旭化成ホームズ株式会社とのシナジー効果、協業体制も順調に機能しており、当社の建築事業の中心である従来マンション事業などはもちろんのこと、非分譲分野の工事などにも着目し、事業ポートフォリオの多角化にそれぞれの企業価値を向上させることで、その認識を一致させております。

また、社会基盤・インフラ等の整備や老朽化対策は絶え間なく継続し、復旧・復興工事及び減災・防災を含めた国土強靱化施策は、当社の取り組むべき大命題だと認識しております。

一方、建設業界における建設技術者・技能労働者の慢性的な不足、建設市場の需要の質の変化、環境意識の高まりや持続可能な社会への転換(SDGs)、スマートシティやデジタル化社会の到来といったことで将来環境は著しく変わってきています。これらの大きく変容する事業環境への対応を喫緊の課題として、必ず乗り越えてまいります。そして業務の効率化、省力化またアウトソーシングを一段と進めてまいります。

加えて、中長期的には能登半島地震復興事業、関西地区においては、長期的な展望として北陸新幹線の大阪までの延伸、リニア新幹線の名古屋～大阪間の着工なども計画されており、私たちは中長期的なインフラ整備と民間需要・設備投資等の大小の波をしっかり見極め、安定感のある、魅力的な企業へと伸長し、社会的責任を果たしてまいりたいと考えております。

当社における経営方針

当社は、『最高の品質と最良のサービスで、お客さまの感動を』を経営理念としております。「将来を見据えた人財育成」、「安全・品質・コンプライアンス(法令、社会規範、倫理の遵守)」、「地球環境との共存共生」これらをすべての事業活動において、着実にまた確実に実行していくことで、お客さまとともに喜びを分かち合い、「喜びを喜びに JOY&JOY」のコーポレート・スローガンのもと、健全で質の高い経営を引き続き推進してまいります。

この経営理念は、ESG経営という観念とも符合しており、向うべき方向は同じであるという認識を更に深めてまいります。



“モノづくり”とは安全にこだわること。 品質にこだわること。

建設業という“モノづくり”は、地域の環境・特性に配慮し、最低限の環境負荷で、構造物を造り上げていかなければなりません。災害・事故を撲滅し体系的に安全衛生活動を機能させることでお客さまの信頼を得る。それでこそ初めてモノづくりの会社と標榜できることを肝に銘じて、社会資本と暮らしを継続して支える事業活動を行ってまいります。

その成果として、与えられた条件の下で社員のノウハウの集大成として構築された、「高品質な建造物」をお客さまへ提供し、感動を得ることが社員の喜びと考える魅力ある企業であり続けます。

当社は非常にシンプルな事業構造に収斂しております。土木と建築の建設部門のみです。事業の種類を増やさず、多角化も追い求めていません。これからも「愚直にモノづくり」に拘るゼネコンであり続けます。

「森組ブランド化計画」、 誰からも「選んでいただける」企業へ

定性的なキーワードである「魅力あふれる森組ブランドの確立」については、今後も引き続き継続してまいります。前期より3か年にわたって、策定された新中期経営計画「MGBP-The Stability-」を実行してまいります。そして、2030年度の「森組のあるべき姿」に向けて課題を整理し、しっかりと歩み続けてまいります。

この計画で、社会に貢献し、持続的発展が可能な企業であり続けるために、来る2030年度の「森組のあるべき姿」として、3つの企業ビジョンを示しました。

- 信頼できるパートナーと共に、サステナブルな社会を建設する
 - 受け継がれてきた伝統と共に、新たな現場管理を実現する
 - ステークホルダーと共に成長し、ステータス性あふれる企業になる
- これらを高いレベルで実現し、「魅力あふれる森組」というブランドを確立させていきたいと考えております。不確実な将来においても「森組」が存続し続けるために、今、私たちが何をすべきか？拙速な答えを求めずに、正確な判断を導きだしていかなければなりません。それが私たちの使命だと考えております。

これからも、お客さまをはじめとしたすべてのステークホルダーの皆さまに対して、地域社会の発展に貢献し続けるため、役職員一同、成長し続ける企業を目指してまいります。

最後に

このCSRレポートは、2024年度(2024.04～2025.03)を中心とした当社の事業内容及び環境負荷低減活動や社会問題などに対する取り組み、活動をできるだけわかりやすくまとめたものであり、私たち森組をより身近に感じていただくためのものでもあります。ぜひご一読いただき、ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

加えて将来にわたって社会的責任を果たすために、継続している現行事業を通じてSDGs(持続可能な開発目標)に取り組み、その活動意義を社内外へ発信してまいります。

JOY & JOY 信頼を喜びに

100年の後も、変わらないこと。 この100年、変えてきたこと。

信頼されることは、何よりの喜びです。

新しい時代に合わせて刷新してきた技術や理論、合理性の追求。

社会のニーズに応じて創造してきた居住空間や都市空間。

自由自在に変化を遂げたもろもろの一方で、草創期より変わることのない、堅実経営の理念があります。

誠実に、真摯に、着実に…ちょっと硬いこの姿勢こそが

森組が信頼され続ける由縁です。

山陰自動車道 出雲インターチェンジ工事(島根県)



経営理念

最高の品質と最良のサービスで、 お客様の感動を

私達は、持てる技術・業務に常に磨きをかけ、お客様の要望に的確にお応えするよう歩み続けます。そしてお客様が、私達の提供するモノ、サービスにこの上ない満足をお感じになり喜んで頂けることを、私達の最大の喜び・明日への糧とし、さらにこれらの行為を通じて社会に貢献する企業であることを目指します。

コーポレートスローガン



経営方針

1. 将来を見据えた人財育成
2. たゆまぬ努力による品質の保持・管理
3. 全社を挙げての事故・災害の撲滅
4. 適切なコスト、適正な価格の追求
5. 遵守事項の厳格運用
6. 地球環境との共存共生

行動規範

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. Change | 守旧を打破する変革邁進 |
| 2. Create | 智慧を絞った改善提案 |
| 3. Challenge | 視野を広げて積極挑戦 |
| 4. Communicate | 内外も縦横斜めも意志疎通 |
| 5. Speed | 待ったなしでの迅速行動 |

信頼される企業であるために、 まず私たちがやらなければならないこと

森組は誠実な心と思いやりの気持ちが信頼に繋がるのだと考えています。そのために私たちがやらなければならないことを従業員一人ひとりが考えて行動します。森組は社会の一員として、法令及び定款、規程、企業倫理等に背くことのないコンプライアンス経営を徹底して推し進めます。

具体的な取り組み



推進組織 ～CSR統括部～

森組は企業としての社会的責任を果たし、より豊かな社会を次世代の人々に継続して引き継ぐサステナビリティを目指すためにCSR統括部を設置しています。CSR統括部では文字通りの役割のほかに、コンプライアンスを推進し、従業員への意識づけはもちろんのこと、各部署の責任者や役職員に対しての指導や教育にも重要な役割を担います。



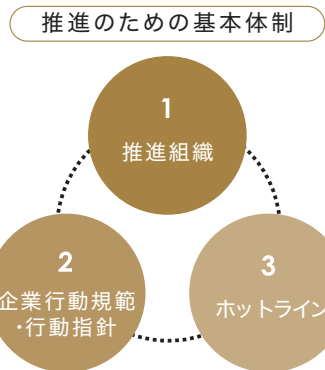
企業行動規範・行動指針

ステークホルダーの皆さまの信頼を得るために従業員全員が守っています。また、役職員を対象にしたコンプライアンス研修も実施し、行動規範・行動指針の実践を指導しています。



ホットライン ～相談窓口を設置～

内部通報(相談)窓口を設置し、従業員からの業務上の相談を受けつけて迅速に対応する体制を整えています。従業員の日常業務の中で組織的、または個人による法令等違反行為・反倫理行為(社内規程・ルールを含む)が行われた場合、またはその恐れがある場合に通常の業務ラインとは別に通報・相談することができる窓口です。窓口には社内通報・相談窓口と社外通報・相談窓口を設け、通報しやすい環境を充実させています。



情報管理への取り組み

情報管理への取り組み

- 個人情報取扱規程を制定
- 特定個人情報取扱規程を制定
- 電子情報セキュリティ啓蒙活動の実施
- 電子情報セキュリティ管理規程の制定と定期的な見直し

個人情報の保護

森組では個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定めウェブサイトに掲示し、個人情報の取得及び森組が有する情報の管理や取り扱いについて、管理規程を定めて個人情報の保護に取り組んでいます。

電子情報セキュリティ

インターネットや超小型記録媒体など、昨今の電子情報伝達ツールの普及に伴い、企業の管理する電子情報が漏洩・盗難されるという事件が多発しています。森組では、イントラネット等を利用して電子情報の取り扱いや漏洩・改ざん防止について定期的に啓蒙活動を行っています。また、定期的に「電子情報セキュリティ管理規程」を見直し、高いセキュリティレベルの維持に努めています。

緊急事態に対応する体制の構築が 森組が果たすべき社会的責任です。

森組の企業活動の中でお客さまに提供する「最高の品質と最良のサービス」をとりまく環境は、常にあらゆる緊急事態が発生するリスクをはらんでいます。ひとたび大きな緊急事態が発生すれば会社経営を圧迫し、存続の危機に陥るばかりではなく、社会に極めて重大な影響を及ぼす可能性があります。森組はこの緊急事態に対応する体制を整え、速やかに対処できる仕組み作りを進めています。また、大規模災害等発生時に備え、BCP「事業継続計画」を策定しています。

緊急事態に対する備え

1時間ルール

普段より緊急連絡体制を確立して事故や災害が発生した場合には、1時間以内に会社のトップまで報告することを義務付けた「1時間ルール」を実行しています。

緊急体制

事故(災害)の程度により、段階的に以下の本部を設置します。

1. 作業所対策本部
2. 緊急対策本部(責任者:事業本部長)
3. 危機管理委員会(責任者:社長)

緊急時に備えた訓練

日ごろより緊急時に備えた訓練を実施しています。

AEDの使用訓練



大阪モノレール三島1

熱中症対応訓練



横環南栄1C下部其2

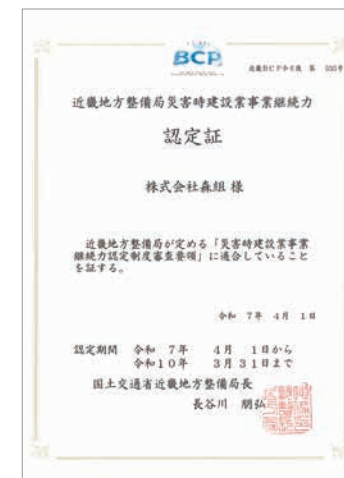
レスキュータンク使用訓練



成田用水耐震補強工事

BCP「事業継続計画」の策定

- 生命の安全確保と安否確認
- 組織体制と指揮命令系統
- 重要拠点の確保
- 重要データのバックアップ
- 本店及び設備の災害被害軽減
- 財務手当
- 緊急資材等の備蓄



JOY & JOY 人々の笑顔を喜びに

何よりも上質を重んじる。 社会資本と暮らしを支える。

快適生活や交通・物流などに
欠かせない都市インフラ整備。
豊かな都市生活や産業の発展・
維持に貢献する建築物。
建築・土木・開発・管理など
森組が手がける多彩な事業の
基本にあるのは、
最高の品質と技術力を
惜しみなく注ぐ姿勢。
安全と信頼が見える事業によって
人々の笑顔は生まれます。
たくさんの笑顔に出会えることが、
私たちの喜びです。



ルフォンブログレ志村坂上(東京都)

社会的責任を果たす森組の事業

安全と信頼は1899年の創業から
一貫して変わらぬ森組の社会的責任です。

森組は建設事業に携わる企業として、社会的責任の重さを日々痛感しています。都市インフラ整備は時として環境問題と密接に関係し、また、暮らしを支える安全という観点において私たちの事業が担う責任も重大です。「人々が安心して生活できる社会を創造する」それが私たちの社会貢献であるという経営理念。この思いを喜びとしながら、同時に社会的責任を果たす企業でなければならないと森組は考えています。

建築事業

経営理念に掲げる
「最高の品質と最良のサービス」



プランズ都島(大阪府)

土木事業

経営理念に掲げる
「最高の品質と最良のサービス」



R4横環南米IC・JCT下部その1工事(神奈川県)

リニューアル事業

建物改修工事の分野でもゼネコンの
ノウハウと技術力で活躍しています。



着工前

銀座中学校校屋上防水改修工事
(東京都)



竣工後

砕石事業

ゼネコンと砕石業界のネットワークを
構築し、資源の有効活用に努めています。



生瀬砕石所(兵庫県)

1
治水・利水



寝屋川流域下水道 枚岡河内中央増補幹線立坑築造工事(R5-1)(大阪府)



紀の川湊紺屋町地区堤防強化工事(和歌山県)

3
道路



(仮称)夢洲北高架橋架設工事-1(大阪府)



すさみ串本道路里野西地区改良工事(和歌山県)

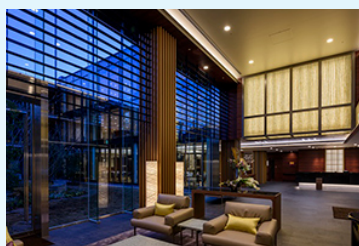
森組は生活・教育・文化・福祉・商業・スポーツ・エネルギー関連など、さまざまなシーンで、人々の暮らしを豊かにする事業を展開しています。

2
砕石販売



生瀬砕石所(兵庫県)

4
福祉施設



ウェルケアガーデン 深沢(東京都)

5
リニューアル



エステート岡本大規模修繕工事(兵庫県)



田原本町立東小学校耐震補強工事(奈良県)

7
商業施設



ホームセンターコーナン京葉船橋インター店(千葉県)

6
住宅施設



ブラウド難波(大阪府)

プランズ渋谷代々木公園(東京都)

8
トンネル



山野部坂トンネル建設工事(兵庫県)

森組が活躍する
魅力あるまちづくり



Action 03

高い品質



JOY & JOY 品質を喜びに

信頼に、最高の品質で応える。 それが、私たちの誇り。

日々進化してゆくテクノロジーに、
最高の品質と高度な技術に支えられた専門性で対応します。
道路、下水道、教育・福祉施設、商業施設、マンションなど
私たちが手がけるのは、何よりも安全性が問われる建造物。
誠実・堅実・真面目をモットーに、
安心の社会と暮らしをお届けできるのは、大きな喜びです。



【南敷地】リヴィエール江坂江の木公園(大阪府)

【北敷地】コンフォリア江坂江の木町Q(大阪府)

確かな技術と品質

森組が目指すのは最高の品質と最良のサービス！

森組の品質方針は経営理念そのものです。私たちは経営理念を具現化するため、お客さまのご要望にお応えできる品質マネジメントシステムの確実な実践とその継続的改善に努めています。創業以来126年にわたる技術の蓄積と経験に裏付けされた豊かな提案力と確かな施工力を結集してお客さまのご満足を実現します。

経営理念

「最高の品質と最良のサービスで、お客様の感動を」
私達は、持てる技術・業務に常に磨きをかけ、
お客様の要望に的確にお応えするよう歩み続けます。
そしてお客様が、私達の提供するモノ、サービスにこの上ない満足をお感じになり喜んで頂けることを、私達の最大の喜び・明日への糧とし、さらにこれらの行為を通じて社会に貢献する企業であることを目指します。

品質方針

1. 持続的発展のツールとして品質マネジメントシステムを運用します。
2. 品質不具合を予防し、品質事故の撲滅を図ります。
3. 是正することに躊躇せず、常に改善を図ります。
4. 総合力を向上させるため、当社全役職員を教育し、スキルアップを図ります。

ISO 9001 の取得

品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001:2015を認証取得し、土木構造物及び建築物の設計、施工及び点検サービスなど全社で積極的な改善活動に取り組んでいます。



▲登録証

2024年度 品質目標の取組状況

品質目標の取組状況

森組では土木事業本部・建築事業本部それぞれが、工事の優れた完成度や顧客満足度についての目標値を定めて品質向上に努めています。

具体的な品質目標

- 品質事故の撲滅
- 情報端末の有効活用
- 技術提案の実施
- 顧客満足度の高評価
- 技術社員の育成
- 業務マニュアル・手順書作成

優良工事の表彰

建築・土木工事において完成度の高さを評価され、表彰状を頂きました。



(仮称) 渋谷区富ヶ谷一丁目計画新築工事



(仮称) 枚方市楠葉花園町計画新築工事



山陰自動車道 出雲インターチェンジ工事



一級河川寝屋川加納元町
調節池築造工事(発進立坑)

※この他にも数多くの表彰状や感謝状を頂いています。

新工法の紹介 アーバンリング工法を用いた混合構造基礎「アーバンファンデーション工法」

アーバンファンデーション工法は、当社が施工した湊川付近鋼製橋脚等大規模更新工事において、既存のアーバンリング工法を用いて橋脚基礎での実験及び改良を行い施工したもので、これらの実験結果を基に、一般財団法人国土技術研究センター(JICE)に建設技術審査を依頼し、6ヵ月間の技術審査を経て合格しました。【技審証第57号】

アーバンファンデーション工法の特徴

アーバンファンデーション工法は、狭隘地や上空制限のある現場でも、柱状体基礎を短期間で構築することが可能となります。



Action 04

確かな安全



JOY & JOY 安心を喜びに

高い安全意識で守られた環境。 それを、ごく当たり前として。

私たちのすべての現場で、安全衛生目標が厳守されています。

森組が取り組む労働安全衛生マネジメントシステムは、

働く立場の人間はもちろん、周辺住民の皆さまや

たくさんのステークホルダーの皆さまに

安心と感動、喜びを実感していただく必要不可欠の要素。

安全対策の確立と実施は、大きな信頼と理解に繋がります。

舞洲東高架橋架設工事(大阪府)



喜びと信頼を生む安全

2025年度 安全衛生方針

私たち森組は、体系的・組織的に実施する労働安全衛生マネジメントシステムを安全衛生管理の基本とし、『前提安全』を企業風土として定着させるとともに、働く人々が安心できる安全衛生環境の向上と整備に努め、社会から信頼と共感をもって受け入れられる企業を目指します。

スローガン

- ① 『安全』はすべての作業の前提
- ② 三大災害絶滅を基にあらゆる災害絶滅のための作業手順の確立と遵守
- ③ 「ヒューマンエラー」の防止・低減
- ④ 災害0から危険0へのリスクアセスメント
- ⑤ 新規入場者に対する現場特性・ルール of 周知
- ⑥ 始めよう! ころとからだの健康づくり
- ⑦ 進めよう! 快適な職場づくり

労働安全衛生マネジメントシステムへの取り組み(ISO45001:2018)

- 1 労働安全衛生マネジメントシステムを構築し、システムが円滑に運用されるよう基本的事項を具体的にまとめて全従業員に周知しています。
- 2 システムの運用にあたっては方針・目標を定め「リスクアセスメント」を基本に安全衛生管理計画を策定し、運用しています。
※リスクアセスメントとは・・・安全を妨げる要因を特定し、それらを分析して評価すること
- 3 問題点の把握・是正処置を行い、継続的な改善を実施します。
- 4 労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格であるISO45001:2018の認証を取得し、安全衛生方針の定めのもと全社をあげて労働安全衛生活動を推進しています。

ISO45001の取得



システムの メリット

- 1 安全衛生管理・活動の確実性と効率性が図れる。
- 2 安全衛生活動に関する日常の地道な活動が公正に評価されることに繋がる。
- 3 健全性、信頼性のアップに繋がる。
- 4 安全衛生水準の継続的、継続的な向上が図れる。

安全衛生活動の取り組み



当社独自の安全看板シートの掲示

『見える化の実施』

大阪労働局・各労働基準監督署で推進している「安全見える化運動」を、当社も積極的に取り入れ、当社独自の「見える化シート」を製作し、各作業所において労働災害防止活動の一環として取り組んでいます。



安全帯試行と平均台による健康チェック

『安全帯試行と平均台による健康チェック』

現場において安全帯を使用する習慣をつけるため、朝礼後、安全帯の試行をするともに、作業員の体調管理の一環として、各作業所に平均台を設け、平均台を渡り、当日の体調確認を行っています。



バックホウのシートベルトにマーカー装着

『シートベルトにマーカー装着』

万が一のバックホウ転倒災害に備え、運転者のシートベルト使用を徹底するため、第三者が確認しやすいマーカーを着装することにより、運転者が見られている意識を持つことによるシートベルト使用の促進を図っています。

協力会社との連携（MOST会活動）



第46回労働災害防止推進大会（大阪府）



第43回労働災害防止推進大会（東京都）



大阪・東京合同安全パトロール（榎峠トンネル工事）

MOST会各部会の活動



建築部会



材料部会



土木部会

MOST会とは

森組と協力関係にある企業の皆さまと、双方の発展に寄与することを目的とし、環境・安全活動や技術力の向上に向けての諸活動を行っている会

経営層パトロール

経営層が参加し、年間3回（安全週間・衛生週間・年末年始）強化パトロールを実施しています。森組・協力会社の経営層が事故災害撲滅のため前提安全のスローガンのもと現場巡回を実施、指示指導を行っています。



安全週間 経営層パトロール状況



衛生週間 経営層パトロール状況



年末年始 経営層パトロール状況



年末年始 経営層パトロール状況

けんせつ小町パトロール

（社）日本建設業連合会が推進している「けんせつ小町」を当社も積極的に取り入れ、女性職員を含む店社中心のメンバーで衛生パトロールを実施し、女性が働きやすい環境づくりを目指しています。



（仮称）横環南栄IC下部其2工事（神奈川県）



（仮称）R5枚岡河内立坑築造工事（大阪府）

JOY & JOY 自然保護を喜びに

地球環境に配慮しながら、 自然と共によりよく生きる。

美しい風景や大空、澄んだ水をいつまでも残したい。

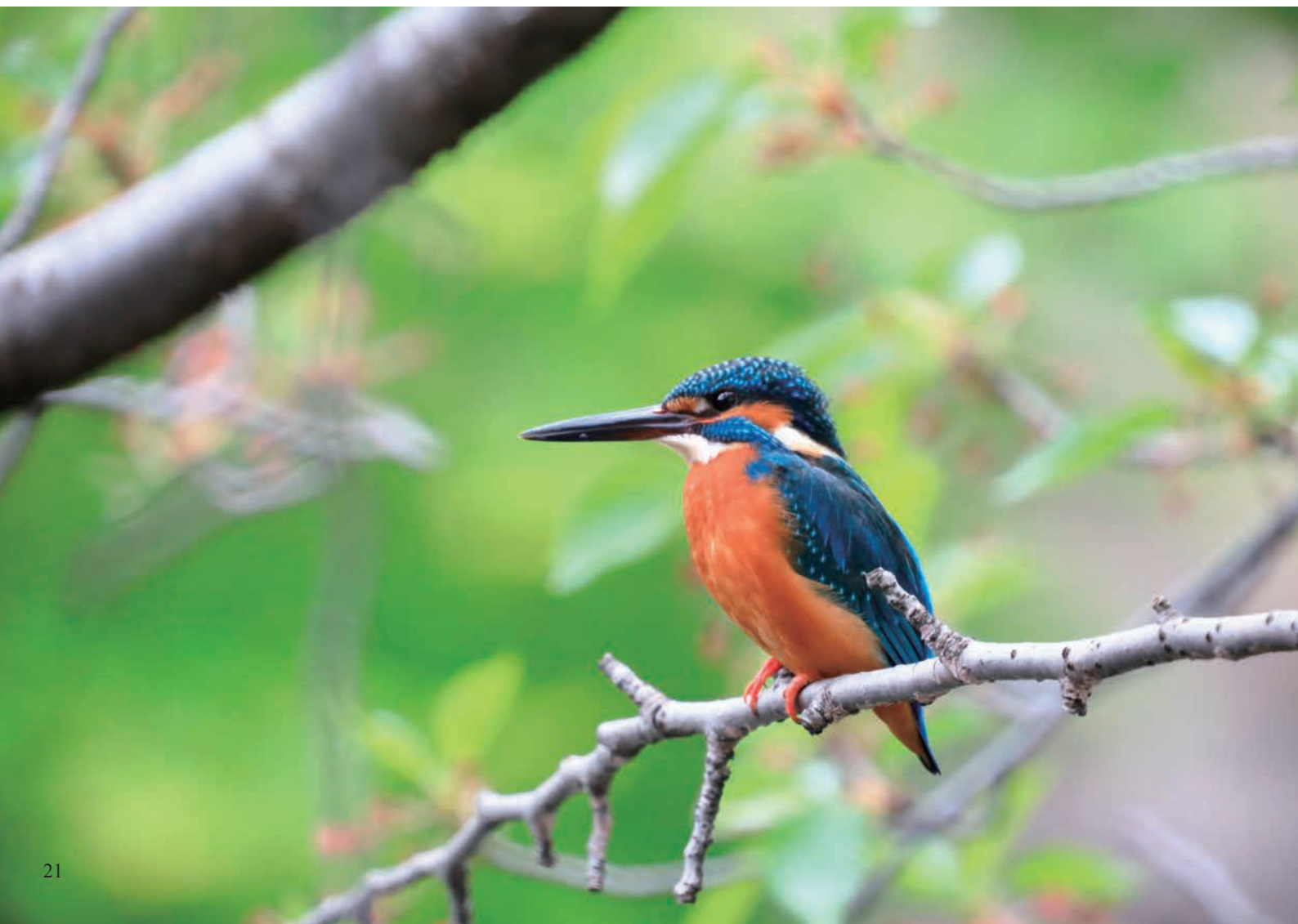
誰もが願う中で、いま地球の症状は深刻化するばかり。

私たちにできることは、限られた資源を大切に有効に使うこと。

そして次世代にツケを残さない、持続可能な社会を目指して

新しい視点で創意工夫をすることです。

森組は地球環境との共存共生をキーワードに活動しています。



限りある資源と共生するエコプロジェクト

自然に感謝する気持ちを大切に…

森組は「地球環境との共存共生」を環境方針のテーマに据え、建設事業を営む私たちにこそ発揮できる地球環境への貢献に日々挑戦し続けています。

環境方針

森組は、社会的責任を果たすべく、以下の方針を定め関係者に周知します。

[1]環境負荷を低減するために環境マネジメントシステムを運用し、継続的な改善を図ります。

[2]環境に関する法令・協定を遵守し、必要に応じて自主基準を策定し実行します。

[3]「環境事故」のリスクを排除・低減します。

[4]環境負荷を低減するために以下の環境目的に取り組みます。

- 建設廃棄物の削減とリサイクルに配慮した設計・施工
- 持続可能な社会の実現、省エネルギーを配慮した生産活動
- 周辺環境及び自然環境に配慮した丁寧な施工
- 気象変動の抑制に向けた温室効果ガスの排出量削減(2030年度に2021年度比42%の削減)

ISO14001の取得

環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001:2015を認証取得し、「環境方針」の定めのもと部門単位で環境目標を達成し、全社をあげて環境保全活動を推進しています。



2024年度 環境目標の取組状況

環境目標の取組状況

森組では、土木工事・建築工事・リニューアル工事のそれぞれで法規制等を遵守し、資源の有効利用、省エネ活動、環境汚染の予防に努める活動を実施しています。

具体的な環境目標

- 混合廃棄物の削減
- リサイクルの徹底
- 環境事故の発生ゼロ
- 環境配慮の工事計画
- 建築物のエネルギー消費性能向上

電子マニフェスト普及率98.4%達成

当社は、2012年度から電子マニフェストの取り組みをスタートしました。導入から13年目の2024年度は、全マニフェストに対する電子マニフェストの普及率は98.4%を達成しました。電子マニフェスト化は、廃棄物処理業務の負担を軽減するだけでなく、インターネット上で廃棄物の処理状況が確認できるなどの「見える化」が図れるほか、処理途中で異常事態が発生した時の注意喚起機能を持っているなど、当社のCSR経営に欠かすことのできない優れたシステムといえるでしょう。

Action 06

望まれる社会貢献



JOY & JOY 喜びを行動に

人や地域とつながって、 広く貢献できるという喜び。

森組が、長きにわたって歩むことができた感謝の思いは、
地域社会に還元することで喜びに変わります。
地元の皆さまに安全・安心を直接確かめていただき、
子どもたちの好奇心や学ぶ気持ちを育てる現場見学会、
災害発生時に迅速対応するための緊急資材や機材配備など、
地域社会の安心や快適生活の一助になるよう努めています。

東京都下水道局「魅せる！伝わる！下水道工事PR事例紹介！」に選定されました。

東京都下水道局で取り組まれている、東京下水道の認知度向上、理解度向上及びイメージアップにつながる優れた取組を選定し、公表する、「魅せる！伝わる！下水道工事PR事例紹介！」に当社が施工しました「足立区千住緑町一丁目、千住橋戸町付近再構築工事」が選定されました。

【選定理由】

東京下水道の認知度向上、理解度向上及びイメージアップにつながる優れた内容であり、地域への配慮（地元住民への配慮、周辺環境への配慮）が認められました。

除雪作業



施工箇所周辺道路の除雪作業を行いました！

降雪の影響で車道・歩道に雪が積もり転倒等が考えられる危険な状態でした。目の前に保育園があり、園児の通行など人通り多い箇所でしたので、除雪を行うことで第三者の転倒防止に努めました。

取組効果

施工中の第三者の転倒や滑る様子は見られませんでした。保育園の先生方に感謝のお言葉を頂きました。

防音対策（型枠加工場）



騒音対策を図りながら施工しています！

作業場所がマンションの目の前にあるため、常に騒音対策を意識しながら作業しました。

取組効果

騒音計測器が基準値を超えることなく施工できました。防音パネル・防音シートによる囲いの影響で、粉じん・排ガス等もマンション側への飛散はありませんでした。

粉塵飛散対策



粉じんの飛散防止を徹底！

洗堀防止材の切断作業により石粉の飛散が考えられました。防音パネルと防音シートにより囲いを設置し、近隣住宅への飛散防止を徹底しました。粉じん対策と同時に騒音対策を図りました。

取組効果

保育園前での施工、住宅近くでの施工、駅前通りでの施工がありましたが粉じんの飛散なく施工完了しました。粉じん・騒音の苦情もなく作業することができました。

災害復旧への貢献

災害復旧

平成29年7月の九州北部豪雨の災害を受け、土砂・洪水氾濫による被害の防止を目的とした砂防堰堤（赤谷14・15・16）流路の河岸浸食防止のための溪流保全工事を行いました。



令和3年度赤谷川16溪流保全工事（福岡県）



「石川県に災害復興支援事業に役立てていただくため水冷ベストを寄贈しました」

令和6年能登半島地震の復興支援事業に従事されている皆さまに役立てていただけるよう水冷ベスト150着を石川県に寄贈いたしました。被災地の一日も早い復旧・復興を心より祈念いたします。

緊急資材の配備

森組では災害発生時の初期活動に迅速に対応するため、また環境破壊などの拡大を未然に防ぐために、緊急資材を13ヶ所の地区に配備しています。この緊急資材は、地域住民・自治体等の緊急要請にも応えることができる体制を整えています。

- 大阪府東大阪市（2ヶ所）
- 大阪府東淀川区
- 兵庫県加東市
- 兵庫県丹波市
- 和歌山県岩出市
- 島根県安来市
- 大阪市平野区
- 兵庫県西宮市
- 兵庫県神戸市
- 和歌山県印南町
- 滋賀県大津市
- 千葉県佐倉市



全景



内部

食品ロスの削減に向けての取り組み

森組では2023年から社内の災害緊急時用備蓄食料をフードバンクに寄贈しています。2024年も引き続き、災害備蓄食料（かんぱん360缶）をフードバンク活動団体であるセカンドハーベスト・ジャパン様に寄贈しました

「フードバンク」とは？

安全に食べられるのに包装の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で、流通に出すことができない食品を企業などからフードバンク活動団体へ寄贈し、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動です。



地域社会とのコミュニケーション

現場見学会・地域社会への貢献

作業所ではいつでも、
人々の心に残る仕事を心がけています。

Report

榎峠トンネル工事

篠山産業高校の生徒を対象に、コンクリート吹付け機の実演や試乗など体験型現場見学会を開催しました。



作業所では
地域住民の方々と
ふれあいを大切にします。

Report

御前山ビオトープ育成活動

「NPO 美しい田園21」主催によるボランティア作業（御前山ビオトープに移植した稀少植物の生育、山桜等の植樹や老朽化した施設の補修）に参加しました。



Report

八間川クリーン大作戦2024

両総用水事業推進協議会主催による、八間川の毎年駆除しても繁茂する特定外来種「ナガエツルノゲイトウ」を除去する活動に参加しました。



SDGsに対する取り組み

森組は持続可能な開発目標(SDGs)を推進しています。

森組は、「最高の品質と最良のサービスで、お客様の感動を」を経営理念に、お客様の満足・喜びを私たちの最大の喜び・明日への糧とし、社会に貢献する企業を目指しております。SDGsを始めとする社会課題の解決について、事業活動を通じて、皆様と共に貢献していきたいと考えております。

環境

4R(リデュース、リデュース、リユース、リサイクル活動の推進)

- 工事現場での廃棄物の分別、減量化などの活動
- リサイクル寄付

脱炭素・カーボンニュートラルの推進

- 温室効果ガスの排出量削減活動

社会

従業員エンゲージメントの向上

- 働き方改革の推進(現場での4週8休)
- 社員の自主性を重んじ「働きがい」を支援

人財育成・担い手の確保

- 社内教育制度の整備・運用
- 学生向けインターンシップの実施
- 育休の促進(くるみん認定)

施工管理能力の強化と品質の向上

- ICT・AI技術の活用

社会貢献活動

- 寄付活動
- 奨学金財源への貢献活動

ガバナンス

適切な企業ガバナンスの整備と運用

- 持続可能な事業運営のための内部統制の強化

コンプライアンスの徹底

- 法令と社会規範の遵守



災害復旧工事、防災対策工事への取り組み

災害復旧工事、防災対策工事に積極的に取り組み、環境に配慮した安心安全に暮らせる住みよい街づくりを目指します。



ESG投資

当社は、地域・社会や環境との共生、経済・企業との安定的な成長共有の観点から、ESG領域における投融資を行っています。

● 大阪市が発行する「グリーンボンド」への投資

本債権の調達資金は、大阪市が取り組む、環境改善効果のあるグリーン化事業に充当される予定です。

● 独立行政法人日本学生支援機構が発行する「ソーシャルボンド」への投資

本債券の調達資金は、第二種奨学金(利息を付して貸与を行う奨学金)に充当される予定です。



地球環境との共存共生

温室効果ガスの排出量削減活動

2021年度のScope1とScope2における温室効果ガス(GHG)排出量に対し、2030年度には42%削減を目指します。



その他にも当社は幅広くSDGs活動に取り組んでまいります。

Action 07

責任ある社員育成



JOY & JOY 働くことを喜びに

森組の人財は 信頼と安全に繋がる財産です。

歴史ある企業として、私たち森組の人財育成に対する姿勢は

大きな資産であると自負しています。

社員が自由に発言でき、個人の希望が尊重される環境を整え、

一人ひとりが生き生きと活躍できる企業であるように

取り組みを進めています。

森組の人財育成に関する取り組み

社員教育基本方針

森組は社員の自主性を重視し、意欲を持って、自らのキャリア形成に取り組めるような教育制度を目指しています。また、社員が安定的にパフォーマンスを発揮するためには心身の健康を自ら保つ力を獲得する必要があると考えています。この考えを基に社員教育基本方針を策定しています。

1 各職位に求められる知識・ビジネススキルを適切なタイミングで習得・強化する。
必要となる知識やスキルを適切なタイミングで教育することで、社員が自ら意欲を持って学ぶことに繋げる

2 学習メニューの多様化を図り、「自己キャリア形成」および「自己研鑽」の機会を提供する。
希望者を対象とした学習メニューを準備することで、社員が将来のキャリアに必要なものを自ら考え、選択し、学ぶ機会を提供する

3 心と体の健康を維持し、安定したパフォーマンスが発揮できるようセルフマネジメント力を養成する。
様々なストレス要因にシナヤカに対応する術を身につけることで、心身を健康に保ち、パフォーマンスを安定させる

4 コンプライアンスに対する意識を向上させるとともに浸透・定着させる。

教育施策

策定された社員教育基本方針に基づいて、教育体系図を作成し、2023年度より運用を開始しています。共通研修は森組の社員として確実に身につけて欲しいスキルを学ぶことができる『必修制』の研修【Standard】と社員が自己のキャリア形成やライフプランの実現のためのスキルを学ぶことができる『選択制』の研修【Self-improvement】で構成されます。これらの研修カリキュラムを時代や環境、社員のニーズの変化に合わせて、常に更新し続けることで、森組は企業と社員が相互成長できる、サステナビリティを重視した教育制度を実現します。

職務区分	階層別研修	職種別研修			資格試験対策			選抜研修	共通研修		
役員	新任役員研修								Standard(一般) ※必修制	Self-improvement(自己研鑽) ※選択制	
M	M級昇格者研修							エグゼクティブ研修Ⅱ (役員候補者) エグゼクティブ研修Ⅰ (幹部候補者)			
L1		施工 管理 等 実務 研修	安全 衛生 研修	管理 系 事務 職 研修							
L2	L級昇格者研修							技術士			
S1					1級建築 施工 管理 技士	1級土木 施工 管理 技士	2級土木 施工 管理 技士	火薬類 取扱 保安 責任 者			コン クリ ート 技 士
S2	入社3年目研修 新入社員 フォローアップ研修 新入社員研修										

共通研修種別	研修例
Standard(一般)	メンタルヘルス研修、ハラスメント研修、部下指導・育成研修等
Self-improvement(自己研鑽)	コミュニケーション研修、文章力UP研修、マナーレタラシー研修等

教育関連制度

目標管理制度	個々の社員が組織の目標や戦略に応じて、目標を設定し、その成果やプロセスを上司が評価し、助言することで社員の成長を促します。森組では、学歴・年齢・勤続年数ではなく、成果やプロセス、能力によって、評価しています。
キャリアプラン制度	社員が自ら希望する職種や部署を申告できる制度です。可能な限り社員の意欲と能力に配慮した適正配置を行うことで社員の自己キャリア形成に繋がると考えています。
技能資格一時金制度	社員の技能資格取得を推奨するために各種技能資格ごとに一時金を支給しています。2025年4月現在で90種類の資格に対して、一時金(最高100万円)が支給されます。社員一人ひとりが専門知識を獲得し、技術力を向上させることが、会社にとっても有益であると考えています。

森組の採用に関する取り組み

採用方針

建設業の人財不足が深刻化する中で、採用活動を最重要課題と捉えています。伝統のある森組が持つ技術の伝承やバランスの良い人員構成のためには、安定した新卒採用活動が欠かせません。さらに応募の機会を広く提供するため、学校等を3年以内に卒業した既卒者の新卒者枠での採用や、キャリア採用にも積極的に取り組んでいます。2023年度からは事務系総合職の新卒者採用も実施しています。また森組は応募者の資質や長所を重視し、基本的人権を尊重した公正な採用活動を行うことで、応募者の精神的負担をできるだけ軽減できるように取り組んでいます。

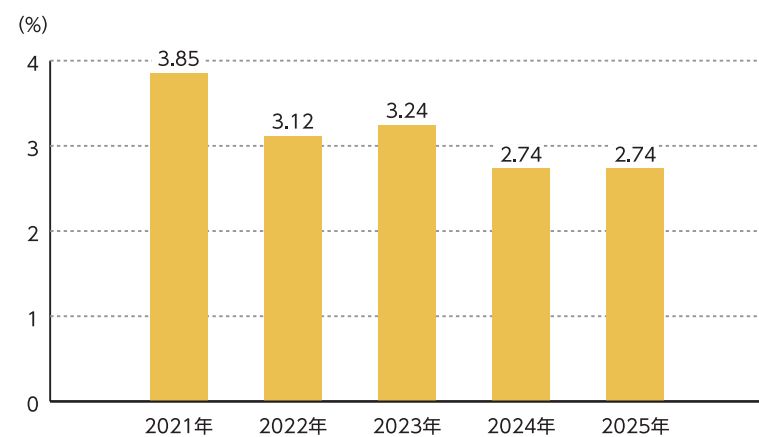
2023～2024年度採用実績と2025年度採用目標

		2023年度	2024年度	2025年度(目標)
新卒採用	技術系	4	3	20
	事務系総合職	1	2	2～4
キャリア採用		7	11	

障がい者雇用

森組は障がい者が個々の個性を活かし、健常者と共に働くことを促進していくことが、継続的な雇用に繋がると考え、障がい者を積極的に雇用しています。2025年3月時点で障がい者雇用率2.74%と法定雇用率の2.5%を上回っています。

障がい者雇用率



再雇用制度

森組では60歳定年を迎える社員の雇用確保措置として、2006年4月より継続再雇用制度を導入しています。少子高齢化が進行する中で、高度な知識やスキル、経験を持つベテラン社員は森組にとって必要不可欠な人財です。本人が希望する場合は、最長65歳に達する事業年度まで再雇用を更新することが可能です。

森組の働きがいに関する取り組み

働き方改革

森組は社員の労働時間の適正な把握および過重労働による健康被害の徹底防止を推進しています。また法改正により2024年4月以降は時間外労働の上限規制の猶予期間が終了しました。建設業も上限規制が適用されています。森組では労働時間の適正管理を目的として、勤怠管理システムを導入し、2019年からは同システムで承認された労働時間以外のパソコンの使用を制限するパソコン画面ロックシステムも導入いたしました。これらにより社員自らが過重な労働の削減を意識し、計画的かつ効率的な働き方の実現に努めています。また、社員が仕事と育児を両立して活躍できる環境づくりを推進しており、2020年には次世代育成支援対策推進法に基づいて策定した一般事業主行動計画の目標達成が認められ、厚生労働省によるくるみん認定を受けました。今後も、森組は社員が職場と家庭生活を両立できる企業として歩み続けます。



女性活躍推進

森組では性別に関わりなく能力を発揮できる職場環境を整備し、社員の多様性を尊重した経営を行っています。これまでの取り組みの成果として、女性社員の職域も広がり、3名の女性幹部が在籍しています。また女性技術者の採用にも注力しており、2012年以降、15名の女性が施工管理職として、入社しました。今後も女性の能力発揮とキャリアプランが構築される職場作りを積極的に継続していきます。

働きがい改革

森組は社員にとって「大きなやり甲斐」と「誇り」をもって、安心して働ける企業を目指しています。この目標を実現するために、2022年より働きがいWG(ワーキンググループ)が発足し、エンゲージメントの調査や1on1ミーティングを実施し、課題抽出を行っています。そこから得た課題をもとに社員の働きがいを向上させるべく、森組のブランド力の強化、業務効率化や人材育成の更なる推進などの活動を行っています。

関連制度

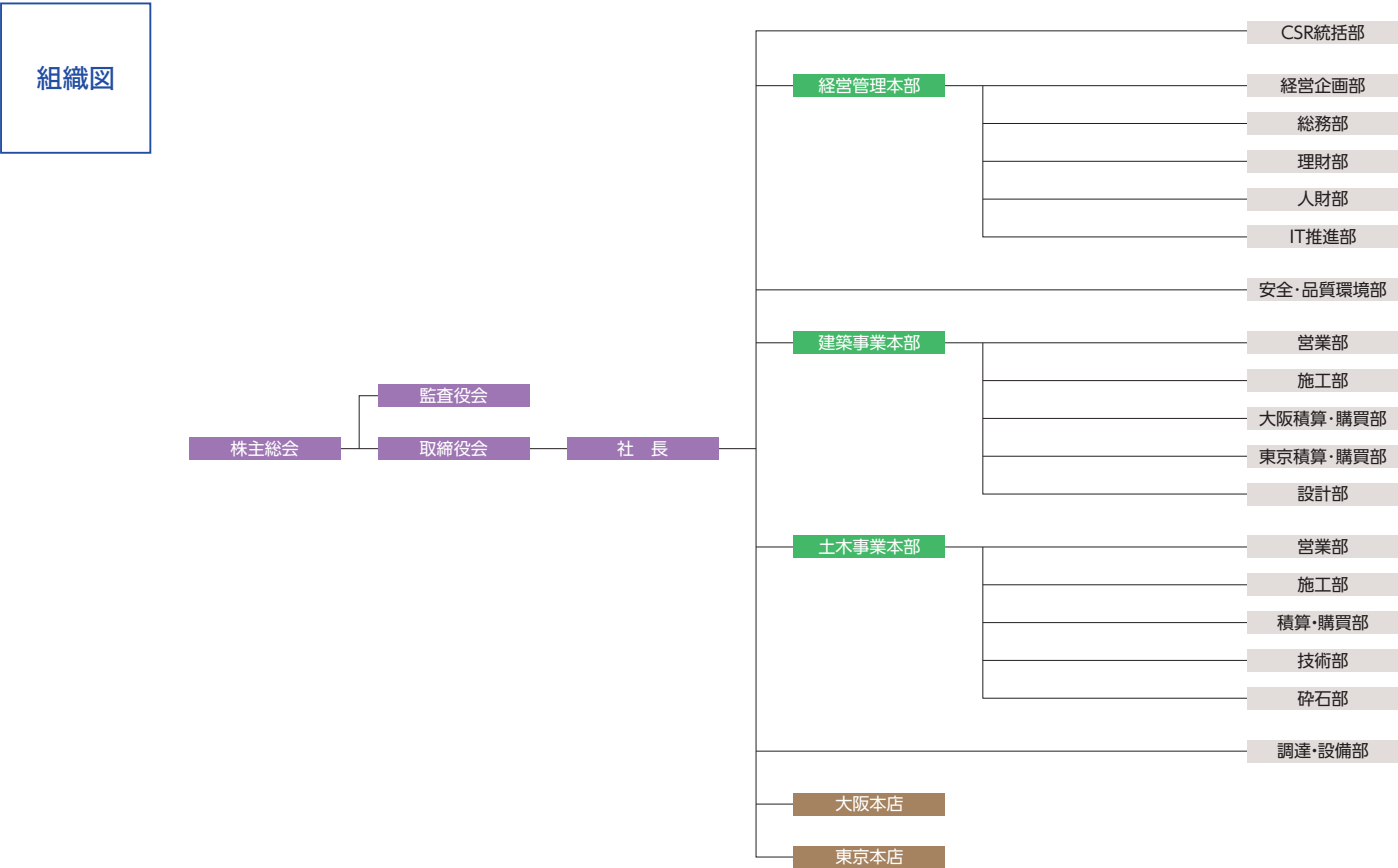
育児休業	最長子が2歳に達するまで、育児休業を取得することができます。 (法定は原則1歳に達するまで)
育児短時間勤務	小学校就学前の子どもがいる社員は、所定労働時間を4時間まで30分単位で短縮することができます。 (法定は3歳に達するまで、6時間まで短縮)
子どもの看護休暇	小学校3学年までの子どもがいる社員は、有給休暇とは別に子ども一人について年間8日の看護休暇が時間単位で取得できます。(法定は5日)

健康管理

社員教育基本方針にもあるように、社員の心身の健康は人的資源に頼る森組にとって大きなテーマであると捉えています。年に一度、人間ドックを活用した定期健康診断、およびストレスチェックを実施し、産業医と情報共有し、連携することで、社員の健全な日々を守っています。

会社概要	社名	株式会社 森 組
	英文表示	Mori-Gumi Co.,Ltd.
	代表取締役社長	吉田 裕司
	創業年月日	1899年6月8日
	設立年月日	1934年2月3日
	資本金	16億4,000万円
	営業種目	1) 土木建築その他附帯工事及び浄化槽工事の請負並びに 工事の調査、測量、設計、監理 2) 碎石、石材並びにその他の地下資源の採取、売買 3) 公害防止施設並びに機器の製造、販売 4) 岩石を材料とした二次製品の製造、販売 5) 不動産の売買、交換及び賃貸並びにその代理、仲介 6) 公共施設等の維持管理及び運営 7) 建築・土木資機材の売買
	従業員数	327名(2025年3月末現在)
	営業許可	特定建設業許可 国土交通大臣許可（特－5）第2404号

一級建築士事務所登録	大阪府知事登録（力）第2647号 東京都知事登録 第29576号
採石業者登録	兵庫県 第518号
宅地建物取引業者免許	国土交通大臣免許（13）第2241号

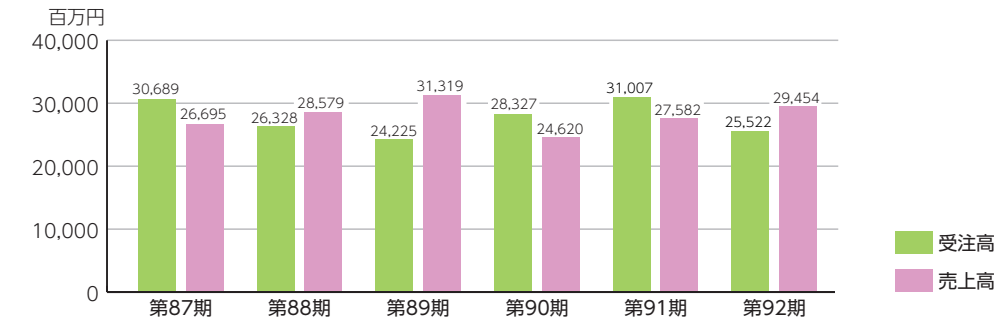


官公庁等	民間企業		
大阪市	旭化成(株)	清水総合開発(株)	阪急阪神ビルマネジメント(株)
大阪府	旭化成不動産レジデンス(株)	積水ハウス(株)	阪急阪神不動産(株)
(福)大阪府障害者福祉事業団	旭化成ホームズ(株)	(宗)創価学会	阪急阪神リート投資法人
(大)大阪公立大学	イズミヤ(株)	総合地所(株)	(株)阪急阪神ホテルズ
大阪広域水道企業団	エイチ・エス化成成品工業(株)	大栄不動産(株)	(株)阪急メディアックス
京都市交通局	エイチ・ツー・オーリテイリング(株)	(株)ダイハツメタル	阪神高速道路(株)
国土交通省	NTT都市開発(株)	(株)大和地所	東日本高速道路(株)
社会保険診療報酬支払基金	大阪高速鉄道(株)	大和地所レジデンス(株)	廣瀬無線電機(株)
(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構	大阪空港交通(株)	中央ビルト工業(株)	平和不動産(株)
東京都	大阪市高速電気軌道(株)	東急不動産(株)	平和不動産リート投資法人
東京都住宅供給公社	大阪神鉄豊中タクシー(株)	(株)東京楽天地	(株)万代
(独)都市再生機構	大林新星和不動産(株)	東宝(株)	三井物産都市開発(株)
豊能郡環境施設組合	カトリック・カリタス修道会	東宝舞台(株)	三井不動産レジデンシャル(株)
奈良県葛城市	(株)カプコン	東レ建設(株)	三井不動産レジデンシャルリース(株)
奈良県上牧町	関西電力(株)	トヨタホーム(株)	(学)箕面学園
奈良県田原本町	関西不動産開発(株)	中日本高速道路(株)	名鉄不動産(株)
奈良県三宅町	北大阪急行電鉄(株)	南海不動産(株)	山中産業(株)
奈良市	近鉄不動産(株)	西日本高速道路(株)	(株)ライクス
成田国際空港株式会社	京阪電鉄不動産(株)	能勢電鉄(株)	(株)ライフコーポレーション
農林水産省	神戸高速鉄道(株)	野村不動産(株)	(株)LIXIL
羽曳野市	神戸電鉄(株)	(株)長谷工コーポレーション	(株)ワキタ
兵庫県	コーナン商事(株)	(株)阪急交通社	その他
法務省	(株)コスモスイニシア	阪急電鉄(株)	
宮城県	サムディ(株)	阪急バス(株)	
(独)水資源機構	(株)サンケイビル	(株)阪急阪神エクスプレス	
その他	(財)自転車駐車場整備センター	(株)阪急阪神百貨店	

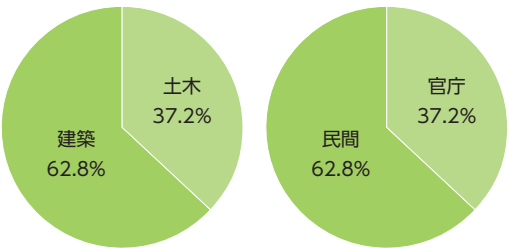
IR情報

第92期(2024年4月1日～2025年3月31日)

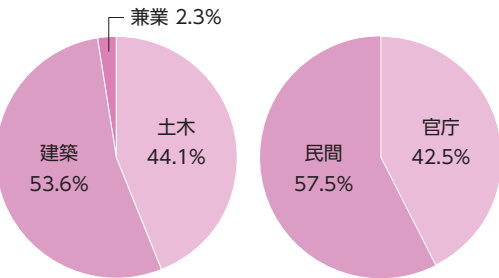
● 受注高・売上高の推移



● 当期の部門別状況(受注高)



● 当期の部門別状況(売上高)



事業所一覧

本 社	〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17 TEL:06-6201-2763 FAX:06-6201-2768
大 阪 本 店	〒541-0045 大阪市中央区道修町4-5-17 M&Mビル4F TEL:06-6201-2762 FAX:06-6201-2769
東 京 本 店	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町10-6 フォーリッチビル7F TEL:03-3808-2071 FAX:03-3808-2077
東 北 営 業 所	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-14-26 保坂ビル3F302号 TEL:022-722-8552 FAX:022-722-8553
横 浜 営 業 所	〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘2-17-21 サンビル105号室 TEL:045-905-2320 FAX:045-902-5506
中 部 営 業 所	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-5-28 サウスレジデンス丸の内3B TEL:052-955-5031 FAX:052-955-5032
京 滋 営 業 所	〒604-0076 京都市中京区東堀川通丸太町下る7-2-12 シャンブル丸太町303号 TEL:075-257-7440 FAX:075-257-7441
奈 良 営 業 所	〒630-8247 奈良市油阪町446-6 第一山口ビル3F TEL:0742-20-5131 FAX:0742-20-5132
阪 神 営 業 所	〒669-1101 西宮市塩瀬町生瀬1131 TEL:0797-87-9112 FAX:0797-87-8889
福 岡 営 業 所	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-10-19 シャンブル博多第2-202号 TEL:092-477-6711 FAX:092-477-6701
生 瀬 砕 石 所	〒669-1101 西宮市塩瀬町生瀬1131 TEL:0797-87-9112 FAX:0797-87-8889
社機材センター	〒673-1462 兵庫県加東市藤田944-214 TEL:0795-42-8490 FAX:0795-42-8491

沿革

1899年 6月	奈良県吉野郡において土木建築請負として創業
1931年 5月	国分砕石所開設
1934年 2月	個人企業を株式会社組織に改め、資本金50万円をもって(株)森組を設立
1949年 4月	生瀬砕石所開設
1949年10月	建設業法による建設大臣登録
1961年 9月	東京営業所開設(1964年4月支店昇格)
1963年 7月	大阪証券取引所市場第二部へ株式上場(2013年7月大証・東証統合により東証二部へ上場)
1971年 2月	宅地建物取引業による大阪府知事免許取得(1976年7月建設大臣許可に許可換)
1971年11月	採石法による採石業者登録
1973年12月	建設業法改正により建設大臣許可を取得
1988年 1月	東京本店設置(1996年6月 東京支店併合)
1990年12月	阪急電鉄(株)の関連会社となる(第三者割当増資・資本金70億1300万円)
1994年 6月	大阪本店設置
2004年 8月	16億4000万円に減資
2007年 5月	阪急電鉄(株)の関連会社から外れ、(株)長谷工コーポレーションの関連会社となる
2013年 7月	東証・大証統合により東京証券取引所市場第二部へ移行
2016年 5月	(株)長谷工コーポレーションの関連会社から外れ、旭化成(株)及び旭化成ホームズ(株)の関連会社となる
2019年 6月	創業120周年
2022年 4月	東証の市場再編にともない、スタンダード市場に上場

ISO 取得関係

1998年 5月	ISO9002認証 東京土木にて取得
1999年12月	ISO9001認証 全社(砕石事業を除く)にて取得
2001年11月	ISO14001認証 全社(砕石事業を除く)にて取得
2002年11月	ISO9001 2000年版に改定
2005年12月	ISO14001 2004年版に改定
2010年 5月	ISO9001 2008年版に改定
2016年 4月	ISO9001、ISO14001 2015年版に改定
2019年12月	ISO45001認証 全社(砕石事業を除く)にて取得

